

“だれかの人生の物語”を話し、学び、考える
第5回 トークイベント

「市民と共に作る演劇」 のこと、話そう

KASUGAI-JIBUNSHI-TALK EVENT

2023年7月1日(土) 14:00-15:30 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

ゲスト：有門正太郎(「演劇×自分史」作・演出/演出家・劇作家・俳優)

寺田剛史(「Re:北九州の記憶」キャスト・作家/舞台俳優)

吉松寛子(北九州芸術劇場「Re:北九州の記憶」プロデューサー)

参加費：500円 定員：50名 ※先着順。オンラインでの配信はございません。
リアル会場でお目にかかりましょう。

申込：右のQRコードまたは kasugai-bunka.jp から専用フォームにアクセスし申込。

電話：0568-85-6868 メール：life-stories@kasugai-bunka.jp

トークイベント前(12:00-13:00)には、演劇×自分史第4弾「おかしな証」
記録映像の無料上映会を開催します。予約不要。



《主催・問合せ》



公益財団法人

かすがい市民文化財団

KASUGAI CIVIC CULTURAL FOUNDATION

春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井

tel. 0568-85-6868 www.kasugai-bunka.jp

助成：一般財団法人地域創造

KASUGAI-JIBUNSHI-TALK EVENT

第5回 トークイベント

「市民と共に作る演劇」 のこと、話そう

だれかの人生の物語、を
話し、学び、考える

2023年7月1日（土）14:00-15:30

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

ゲスト：

有門正太郎（「演劇 × 自分史」作・演出／演出家・劇作家・俳優）

寺田剛史（「Re: 北九州の記憶」キャスト・作家／舞台俳優）

吉松寛子（北九州芸術劇場「Re: 北九州の記憶」プロデューサー）

日本各地で「市民と共に作る演劇」が創作されています。春日井では「演劇 × 自分史」を2017年から始動。自分史と名のつく通り、参加者の経験やエピソードを有門正太郎さんがヒアリングし紡ぎます。そして参加者自身が演じるのが特徴です。

そんな有門さんは、地元・北九州芸術劇場で開催された「君といつまでも～ Re: 北九州の記憶」という公演に俳優として出演しました。この「Re: 北九州の記憶」とは、2012年から続くプロジェクトです。高齢者の記憶を聞き取り、そこから生まれた物語を創作し、プロの俳優が演じます。これまで73人にインタビューを行い、地元の劇作家50名が創作、10年間舞台作品を発表してきました。そして2023年には東京でも上演されました。

市井の人々の記憶を「舞台作品」にすることの意味、市民との共同創作について、様々な角度から話したいと思います。現場で創作に携わった生の声を伺います。創作に興味のある方、劇場や演劇の関係者も大歓迎です。事前の質問やご意見も受け付けます。専用フォームに記載欄からご記入ください（匿名可）。トークイベントの中で取り上げる可能性がございます。小さなお話会に、ぜひ、ご参加ください。

トークイベント前（12:00-13:00）には、演劇 × 自分史 第4弾「おかしな証」記録映像の無料上映会を開催します。予約不要。「Re: 北九州の記憶」はトークイベント内でご紹介します。